



真和館の利用者サービスについて(その2) ～～アルコール依存症について～～



施設長 藤本

真和館の入所者の方々の半分近くは、アルコール依存症です。アルコール依存症の方は、アルコールをコントロールできずに、お酒による問題を起こし、飲酒を続けている限り、正常な日常生活ができなくなった人であります。

アルコール依存症になった人が、正常な生活をするためには、一滴でもお酒を口に入れてはいけません。一度、口に入れてしまえば、折角、何年も禁酒していた努力が水の泡になってしまいます。

このようなことにならないよう、真和館では入所者すべての方に、断酒をお願いしています。勿論、アルコール依存症の方が、断酒をされることは、大変な苦しみと努力が必要であります。そこで、真和館ではこのような方を支え、飲まないで済むような環境づくりに力を入れています。

毎朝、関係者が集まり「断酒の誓い」を斉唱していますし、週に1回は「真和館断酒会」を開催しています。

また、外部から講師としてアルコール依存症の専門の医師やアルコール依存症から回復し、社会的に有意義な活動しておられる方をお招きして、お話を伺う機会も作っています。

真和館は、オープン以来、入所されている方が、どうしたらお酒を飲まないで施設で生活を送っていただけるか、懸命な取り組みをして参りました。

お蔭様で職員のアルコール依存症に対する知識や経験も積み、最近の入所者の皆さんも飲酒に走ることも無く、落ち着いた生活を送っていただいています。

しかし、アルコール依存症に治癒はないといわれるように、飲酒欲求が出るのはどうしようもありません。専門医のアドバイスを受けながら抗酒剤も飲んでいただいています。お酒を飲むか飲まないかは、最後は本人次第です。

幸い、真和館は町から距離があり、職員の目を盗み自分からお酒を求めない限り、お酒は目に触れないし、手にも入りません。飲酒欲求でどうしようもないときは、専門病院にしばらく入院し、断酒プログラムを受けることも考えられます。

アルコール依存症の方は、これまで、自分の飲酒のために家族や周りの人に、どれくらい迷惑をかけ辛い思いをさせたか、反省をし、①アルコールについてはプレーキが効かない体になっていること、②自分ひとりの力ではどうにもならないことを率直に認め、飲まない人生を歩んでいただきたいものです。

真和館としても、医療関係者のご指導とご協力を仰ぎながら、アルコール依存症の問題を真和館のコアへのミッションに位置づけ、飲まない決心をされたアルコール依存症の方と一緒に歩かせていただきたいと思っています。



真和館基本理念



<運営方針> (入所者処遇)

- 1 入所者に安心した生活を送っていただくため、入所者に寄り添いながら、必要な時には向き合った処遇を実践します。
寄り添った処遇・・・受容と共感 向き合った処遇・・・切込みと引き締め
- 2 入所者の持てる能力に応じた自立を目指すと共に、地域生活に戻れる取組みをします。
- 3 リスク管理を徹底し、事故の無い施設を目指します。

1)障害区分状況										H21年4月1日現在	
	身体障害		知的障害	精神障害		生活障害				合計	(内アルコール依存症)
	肢体障害	内部障害		統合失調症	その他の精神障害	高齢・認知	アルコール依存症	手帳を持たない精神障害	その他		
男	6(2)	2	5(4)	6(2)	18(4)	0	4	1	6	41	(22)
女	1	0	0	7	4	1	0	0	0	13	(2)
計	7(2)	2	5(4)	13(2)	22(4)	1	4	1	6	54	(24)

※身体・知的・精神障害の数は手帳所持者の数であり、合計とは一致しない
()内は重複障害者の内数

2)退所者状況									H18・4・28 ~ H21・3・31	
	就職	地域	他施設	精神入院	他入院	死亡	その他	合計		
18年度	0	0	1	2	3	1	4	11		
19年度	0	3	2	3	0	1	1	10		
20年度	0	7	3	3	1	3	2	19		

3)入所前の生活場所						H18・4・28 ~ H21・3・31	
地域	他施設	精神病院	他の病院	その他	合計		
23	5	49	12	5	94		



平成21年度 年間行事予定

4月	春の日帰り旅行 創立記念式典 季節の花見学	8月	ふれあい交流会	12月	心みがきの講演会 真和館仲よし祭り 餅つき大会
5月	熊救協スポーツ大会 真和館春のスポーツ大会バーベキュー大会	9月	心みがきの講演会 キャンプ 夏の日帰り旅行	1月	初詣
6月	心みがきの講演会 カラオケ大会 季節の花見学	10月	秋のスポーツ大会 バーベキュー大会	2月	カラオケ大会 植木市見学 還暦祝い
7月	七夕 季節の花見学	11月	秋の日帰り旅行 季節の花見学	3月	心みがきの講演会 冬の1泊旅行 季節の花見学

毎月	誕生会 対話集会 カラオケ
----	---------------------



茶道クラブ紹介

～和 敬 静 寂～

この度、日本の伝統文化である「茶道」をとおして、心にゆとりを持って暮らしていただくことを目的として、「真和館茶道クラブ」が発足しました。

ボランティアで指導していただく「もえぎ」さんにはこれまで、真和館のイベントで活躍をいただいております。入所者の皆さんとは顔なじみになっていただいております。クラブ発足にあたっては、入所者の皆さんに茶道に触れ、興味を持っていただくために「もえぎ」の皆さんによるお茶会を第1回、第2回と開催いたしました。

その中で、茶道経験者、全くの初心者の方等、茶道に興味を持たれた9名の方が、出来立てホヤホヤの真和館茶道クラブに参加され、先生方のご協力により第3回、第4回と開催する事が出来ました。

今後も、「もえぎ」の方々にご指導をいただきながら「茶道」について様々な事を学んでいきたいと思っております。

身体障害者裏千家茶道クラブ「もえぎ」の紹介
昭和56年発足
～「もえぎ」の由来～

春の萌え出ずる新芽の力強さのように、燃える友情、燃える情熱、そして何事にも前向きに努力するという意。

～これまでの主な活動～

- 米モンタナ州障害者との交流
- ゆうあいピック、星野富弘詩画展
- 熊本ハートフル国体、アビリンピック
- 全国ボランティア熊本大会
- 内閣府主催障害者週間(東京)での呈茶等
- 現在に至る。

出会いを通して 八代市 中根タミ子

この度、真和館に茶道クラブが発足し、私達身体障害者裏千家茶道クラブ「もえぎ」一同も皆さんと共にお茶ができる喜びでいっぱいです。

私達がこのように活動の場が出来るようになったのも、もえぎの指導者福島先生との出会いがあったからです。

障害者にとっては、茶道は遠い存在でしたが、福島先生の一人ひとりの障害に合わせた指導で、年月はかかりましたが、どんなに障害が重くても点前ができるようになりました。

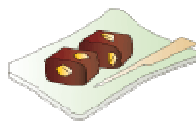
点前ができるようになると、お抹茶の美味しさや喜びを多くの人たちにも味わってほしいと、お茶会を開くようになり、美味しいと喜んでくださる皆さんの笑顔が力となり、呈茶ボランティアとして、県内で行われるいろいろな大会行事にも積極的に参加するようになりました。特に、県外からの選手や役員の方々には、大変喜んでもらっております。

そんな活動にお家元から「引次」という、仲間に教えても良いですよ、という免状をいただき、さらに活動の場が広がり、ここ真和館でも何度かの交流茶会をする中で、「今度はいつ来るの?」と尋ねられるようになり、この絆を大切にしたいという思いと、もえぎの小さな力を皆さんに役立ててほしいという願いから、クラブ活動の指導を引き受けることになりました。



中央: 中根タミ子さん
右上: 福島富美子先生
左上: 藤本施設長

参加者より一言!



まだ、はじめたばかりなので、動きがぎこちないけど、いつかはスムーズな動きが出来るようになりたいなあ。

素敵だなあ...
先生のようにになりたいなあ。

お抹茶、美味しかったです。
また、参加したいです。



断酒の取組み

「昨年度を振り返って」～創立3周年記念文集より断酒会メンバーの方の言葉～

Wさん(男性) 57歳
 ・入所日:平成18年6月1日
 ・断酒期間:約5年

真和館に入所して今年の6月1日で丸3年になります。アルコール依存症の私にとってこの真和館の自然味あふれた環境がピッタリと合うのか一度も強い飲酒欲求が起きなかったのは幸いでした。

毎日の3度の食事にも私にピッタリ合うのでとても気持ちのよい真和館ライフが過ごせています。きっとこれからも気持ちのいい生活が送れるものと確信しています。

施設長より



真和館の断酒会リーダーとしてとても頑張っていただいであります。もう少し断酒を継続した上で、地域へ帰る準備を始めましょう。

Tさん(男性) 50歳
 ・入所日:平成21年1月29日
 ・断酒期間:約3ヶ月



最初の3日間は、良かとおねと思っ生きて生きていたが、日にちが経つにつれ嫌になってきて、畑作業も紙折りもしたが、紙折りはクレームがついて大変だったのでこれも嫌になった。今のところ自分の部屋を掃除する事もなく、全てに疲れ果て何もしたくなり、毎日を呆然と過ごしています。アパート借りたいと思っても実現にはほど遠いし、施設長にも10年我慢しろと言われて嫌になる。だけど、今のところ行くところが無いので、我慢しているのが現状です。何とかしてここを出たいと思っているところなんです。早く明るい明日が来るのを祈るこの頃です。

施設長より

真和館に入り、初めて3ヶ月という長期間の断酒が継続できました。大変なことはよくわかりますが、この記録を1日1日伸ばしていきましょう。

Fさん(男性) 66歳
 ・入所日:平成20年10月22日
 ・断酒期間:約9ヶ月

真和館に入所して早3ヶ月が経ちました。何かというと荷物をまとめて出て行ってくださいと言われるのが頭にきます。もっと優しい対応はないでしょうか？苦しくともアルコールは経っているのにあんまりです。特に職員のM男さんとY男さんです。この間は施設長にも言われました。もっと優しく接する様をお願いします。いくところが今のところないんです。よろしく願います。お手柔らかに。

施設長より



今断酒がとても苦しいと思います。いろいろ文句も言いたいと思いますが、早くそのイライラが取れるといいですね。

Tさん(女性) 70歳
 ・入所日:平成18年7月18日
 ・断酒期間:約3ヶ月



12月の下旬から3ヶ月間入院しましたが、「入院」と聞いた時はとてもショックでした。真和館から離れて暮らす淋しさが強かったのですが、病院で毎日断酒プログラムに取り組んで頑張りました。3ヶ月の入院生活が終わり、また真和館に戻って来れた時は、涙が出る程嬉しかったです。帰って来てからも「断酒の誓い」と「断酒会」へも進んで参加をしています。これからも頑張りたいと思います。

施設長より

3ヶ月の病院入院お疲れ様でした。病院でも体験発表をするなどしっかり勉強していただきました。今後は絶対飲まないで、あなたがとても愛していただいている真和館でずっと生活をしてください。

平成20年度 決算報告

貸借対照表

平成21年3月31日現在

法人合計

資産の部		資産の部	
科目	当年度末	科目	当年度末
流動資産	62,929,658	流動負債	9,359,518
固定資産	323,762,596	固定負債	62,718,223
建物	283,705,400	負債の部合計	72,077,741
土地	7,881,175	純資産の部	
構築物	3,362,000	基本金	58,351,175
車両運搬具	5,446,151	国庫補助均等特別積立金	201,746,682
器具及び備品	6,679,647	次期繰越活動収支差額	39,516,656
その他固定資産	16,688,223	次期繰越活動収支差額	39,516,656
		(うち当期活動収支差額)	26,375,563
		純資産の部合計	314,614,513
資産の部合計	386,692,254	負債及び純資産の部合計	386,692,254

事業活動収支計算書

(自)平成20年4月1日 (至)平成21年3月31日

法人合計

勘定科目	決算
事業活動収入計	177,125,440
事業活動支出計	150,159,710
事業活動収支差額	26,965,730
事業活動外収入計	669,190
事業活動外支出計	1,845,157
事業活動外収支差額	△ 1,175,967
経常収支差額	25,789,763
特別収入計	45,713,370
特別支出計	45,127,570
特別収支差額	585,800
当期活動収支差額	26,375,563
前期繰越活動収支差額	28,141,093
当期末繰越活動収支差額	54,516,656
その他の積立金積立額	15,000,000
次期繰越活動収支差額	39,516,656

心みがきの講演会

～アルコール依存症について～

平成21年度(第13回)の最初の心みがきの講演会を開催しました。今回は、アルコール依存症から復帰した身体障害者の久島雅樹さんに講演をしていただきました。

久島さんは、脳性まひで、特別支援学校から授産施設へ入られ、作業でのストレス、差別的な扱い、体のマヒの痛みを緩和すること等が飲酒量増加のきっかけだったという。アルコール依存症と診断されてもそれを受け入れられず、連続飲酒を続け、6年間で8度入院されている。ある時、大量に血を吐き、死ぬかもしれないという状態になった時、初めて酒を飲む事に対して不安を抱いたという。その後、AAミーティングに参加し「初めて自分の居場所を見つけた気がした」と話され、それが断酒に成功したきっかけであり、現在もAAミーティングへ参加されている。また、ブログ「マッキーのコーヒーブレイク」を書くのが毎日の楽しみと語られていた。

アルコール依存症 復帰の道のり語る

久島さん(略称)救護施設で



久島さんは6年間で8度入院、最後は大量に血を吐き、自分がいざという時に酒を飲む事に対して不安を抱いたという。その後、AAミーティングに参加し「初めて自分の居場所を見つけた気がした」と話され、それが断酒に成功したきっかけであり、現在もAAミーティングへ参加されている。

久島さんは生い立ちと依存症から回復した経緯を昨年、即ちまごめだ、体験を交えて「まごめ」山前購読を始めた。(養学生)

アルコール依存からの復帰体験を語る久島雅樹さん。24日、熊日新聞より

(H21. 6. 25 熊日新聞より)

(質疑応答)

問: AAミーティングの中で仲間をつくる秘訣は?

答: 断酒ミーティングでは、集まった仲間たちが自分の思いを語り、それに対して誰も批判することもない。仲間をつくる秘訣は、①自分の正直な話をする②人の話をよく聞く③仲間を大事にすることだと笑顔で答えていただきました。

熊救協スポーツ交流会

平成21年5月21日(木)パークドーム熊本において、熊本県救護施設スポーツ交流会が行われました。競技はグランドゴルフとニチレクボール(ペタンク)の2種目。真和館は、グランドゴルフに9名、ニチレクボールに6名参加しました。ニチレクボールは惜しくも予選敗退、グランドゴルフについては、最高順位が6位で、ホールインワンをされた方も5名おられました。当日は、蒸し暑く、気温も高めでしたので皆さんお疲れ気味でしたが、他の施設の方と交流ができ、楽しく過ごされました。

春の旅行

真和館恒例の春の旅行は、いつものとおり入所者の希望と身心の状況に応じて3コース(日帰り旅行・芝居見学・食事会)を計画しました。その結果、44名のたくさんの皆様に参加していただくことが出来ました。日帰りコースは、山田の藤(玉名)と山鹿の八千代座見学と街並みの散策をしました。芝居見学は、片岡演劇道場でお芝居、踊り等を楽しまれました。この芝居コースはだんだん人気が出て今回は12名の参加となりました。食事会は、阿蘇ミルク牧場のバイキング料理となりました。皆さんお好みの料理をそれぞれお腹いっぱい食べ満足そうな様子でした。



夏は食中毒に要注意!

夏は食中毒の起きやすい季節です。暑さのために抵抗力が落ちると誰でも食中毒を起こしやすくなりますので、生活全般にも気をつけましょう。

☆食中毒の基本は手荒いです。外出から帰ってから、食事の前、トイレの後などに、心がけて行いましょう。



医務室からのお知らせ

～真和館で人気急上昇中!～

抹茶ミルクゼリー

- (一人分)
- 抹茶 0.6g
 - 砂糖 8g
 - 水 30cc
 - 牛乳 100cc
 - アガー 3g
 - あずき缶 20g

(作り方)

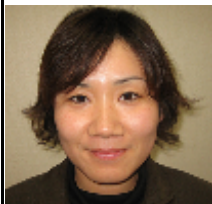
- ①鍋に抹茶と砂糖とアガーを入れ混ぜ、水を入れて溶しておく。
- ②①に牛乳を入れる。
- ③②を冷やし固める。
- ④③の上にあずきを乗せたら出来上がり!!



からいも便り

新任職員紹介

- 1 好きな食べ物
- 2 一言



看護師
岩下 あゆみ(いわした あゆみ)

- 1 ケーキ
- 2 これからも感謝の心を忘れずにいきたいです。



事務員
江浦 一美(えうら かずみ)

- 1 杏仁豆腐
- 2 好きな言葉である、**そ(掃除)わ(笑う)か(感謝)の誠心**で頑張ります。

お誕生者の案内

7月	5日 荒木さん	10月	4日 飯干さん
	7日 石坂(英)さん		4日 藤岡さん
	8日 本川さん		19日 田中さん
8月	11日 福田さん	11月	21日 安永さん
	19日 東條さん		1日 雨森さん
	24日 藤原さん	12月	24日 河野さん
	2日 澤見さん		25日 藁井さん
9月	6日 大海さん	12月	3日 永田さん
	18日 高崎さん		4日 永江さん
	26日 児玉さん		9日 尾崎さん
	22日 濱崎さん		14日 橋本さん
9月	20日 小田さん	12月	21日 大塚さん
	28日 松本さん		

テコとゆう太のぼやき

(テコ)僕は、今月九重へ山登りに行ったら、はぐれて遭難してしまった。もうダメかと思ったよ。でも、毎日探しに来てもらい無事お家へ帰れて良かったあ。
(ゆう太)テコちゃんが無事に帰って来て、僕も嬉しかったよ。



編集後記

早いもので真和館も3周年を迎えました。今回の広報誌でも、真和館について出来るだけたくさんの方々に知っていただきたいと思い、職員の方々と力を合わせて作成に取り組みました。ご意見・ご感想をいただけたら幸いです。次号もお楽しみに!

<編集責任・広報委員>
富永、田浦



発行: 社会福祉法人 致知会
救護施設 真和館

〒861-2401 熊本県阿蘇郡西原村鳥子3072番地
TEL:(096)279-1121 FAX:(096)279-1122
E-mail:shinwakan@utopia.ocn.ne.jp
HP:http://www2.ocn.ne.jp/~titikai/index.html

※「風の彩り」に掲載されている写真等は、ご本人の了解を得ております。